

生涯現役！
内閣府のエイジレス・ライフ実践事例及び
社会参加活動事例に選考された方々への
伝達式を行います



ターゲット 10.2

2023年10月2日
郡山市保健福祉部
健康長寿課
課長 宗形 敏広
TEL：924-2408

SDGs ターゲット 10.2 「全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する」

高齢者の社会参加活動の内容を広く全国に紹介する個人及び団体として、内閣府から本市の3名及び1団体が選考されましたので、書状及び記念の楯の伝達式を行います。

【伝達式】

- 1 日時 10月10日（火）午後2時
- 2 場所 市役所正庁（本庁舎2階）
- 3 伝達者 郡山市長
- 4 受章者 エイジレス・ライフ実践事例「エイジレス章」

あしな ふさお 様
芦名 房雄 様

おおわだ ひろみ 様
大和田 廣美 様

やえがし はじめ 様
八重樫 一 様

社会参加活動事例「社会参加章」

とみたミニディほっとスマイル

[事例詳細については別紙のとおり]

<エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例>

内閣府では、高齢期を迎えた方、又はこれから迎えようとする世代の方々に、高齢期における生き方の参考としていただくことを趣旨に、エイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る）を実践している高齢者の事例（「エイジレス・ライフ実践事例」）や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等（「社会参加活動事例」）を毎年募集し、その中から紹介する事例を選考し広く紹介しています。

令和5年度は、全国でエイジレス・ライフ実践事例（個人）60名、社会参加活動事例（グループ等）42団体が選考され、郡山市からは、エイジレス・ライフ実践事例3名及び社会参加活動事例1団体が選考されました。

<参考>内閣府ホームページ

URL：https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます！！

ひらけ 未来へ こおりやま

【エイジレス・ライフ実践事例】

氏名	活動内容
あしな ふう雄 声 房雄	行政区長として地域住民と行政関係機関との橋渡し役として、長年地域要望の実現や行政施策の迅速な完了に貢献した。現在は三穂田地区社会福祉協議会長として、地域の親子間の交流を図る「子育てサロン」等各種多様な事業を企画し行政区長や地域の民生児童委員と連携し実施している。また、地域の交通安全協会の一員として小中学校や街頭での啓発活動に率先して参加するなど、住民生活の安心のため日々各種団体での活動を継続しており、地域全体から厚い信頼を得ている。
おおわだ ひろみ 大和田 廣美	地元郵便局に在職中の20年以上前から書道、書画に興味を持ち独学の練習により上達し、町内会や各種団体の賞状や感謝状、小中学校の卒業証書等の筆耕を長年行ってきた。また、仏画などを知人や友人、老人クラブ会員に贈るほか、中田町下枝地区の高齢者に冬期間の書道教室を開き「書道を通じた脳の活性化と認知症予防になる」と皆さんから好評を得ている。
やえがし はじめ 八重樫 一	福島県漢字同好会を奥様と二人で立ち上げ、約20年で全国でも屈指の会員数を誇る同好会に育てた。月に1度の福島県漢字同好会の月例会を郡山駅前の市民交流プラザの会議室で行っており、70歳を超える高齢者の方が続々と集まっている。一人暮らしの方も多量中、コロナ禍であっても工夫を凝らし、会員を励まし応援し続けた功績は、高齢者の生きがいづくりに大きく貢献していると共に、広く漢字の面白さと歴史、漢字の持つ可能性を伝える活動につながっている。

【社会参加活動事例】

グループ等の名称	活動内容
とみたミニディ ほっとスマイル	東日本大震災直後の平成23年10月に設立以降、現在まで10年以上継続し、毎月1回、公民館で地域の高齢者を対象に手作りの昼食付きで、簡単な体操、ゲーム、健康チェック、作品作り等を行うデイサービス活動を実施している。新型コロナウイルスの影響で活動ができない時期は、弁当や「ほっとスマイルニュース」という自主広報誌を持参し、直接家庭を訪問するなど、コロナ禍の厳しい状況の中でも見守りを継続し、高齢者の孤立防止に尽力している。